

2021年度 第4回 JSR 編集委員会（小委員会）議事録

日時：2021年11月17日（水）20時 ～ 22時

場所：オンライン（Webex）会議

出席予定（敬称略）

長谷川 和宏（担当理事）、大島 寧（委員長）、川口 善治（アドバイザー）

杏林舎／大山、明松、靄間（記）

議題

1. 抄録号英語目次プログラムのジャーナルサイト掲載について
2. ペーパーレス化に伴う抄録号制作物及び作業工程について

議題1. 抄録号英語目次プログラムのジャーナルサイト掲載について

SSRR 編集委員会で議題に上がった、抄録号英語目次プログラムデータ掲載について、

- ・ SSRR ジャーナルサイト内に新たにページを作成し、掲載するか
 - ・ JSR ジャーナルサイトの現存するアーカイブサイトに、掲載するか
- どちらの方向で進めるかを審議した。

検討事項

- ・ JSR のアーカイブサイトは、会員認証を設けているため、該当ページ掲載では、非会員は閲覧が不可
- ・ 今回の英語目次プログラムの公開対象は、海外の先生（非会員）になるため、すべての先生が閲覧できる SSRR ジャーナルサイト内のほうが良いのではないか
- ・ それとは別に、JSR アーカイブサイトにも、英語目次プログラムがあったほうが良いのではないか

結論

SSRR 及び JSR のジャーナルサイト内に下記の掲載を行うこととなった

1. SSRR ジャーナルサイト内

- ①新規ページを設け、英語目次プログラム PDF を掲載
- ②TOP ページにバナーを掲載し、ページへのアクセスが容易に行えるようにする

2. JSR サイト内

現存のアーカイブサイト内に、日本語+英語を一つにまとめた目次 PDF 掲載とする

議題 2. ペーパーレス化に伴う抄録号制作物及び作業工程について

2022 年から、会期中は抄録演題アプリのみ（業者選定中）

2023 年からについては、大会運営会社もコングレ様から変更（現状は未定）となる。それに向けた JSR3 号抄録集の制作においての問題点を審議した。

検討内容

- ・現状、JSR は、通常号は J-STAGE 掲載、抄録号は冊子のみの発行を行っている。
- ・冊子を単に廃止する場合、アプリにはページ番号の概念が無いため、通常号とのページ番号の繋がりが無くなってしまう。
- ・そのつながりを残すためには、何かしらのページ番号付きデータの制作を行う必要がある。
- ・及び今後の制作物における、データ制作工程および問題点を確認

結論

- ・抄録号については、通常号同様 J-STAGE 掲載を行うこととなった。
 - ・J-STAGE 掲載におけるファイルの数については、1 つまたはカテゴリー区分のどちらかの予定。
 - ・制作時期として
 - ①会期前の 4 月頃に、修正前データを J-STAGE 公開及び会期中はアプリにて閲覧。
 - ②会期後の修正後データを、抄録アーカイブサイトに掲載。時期としては 8 月頃が可能。
- 詳細は次回編集委員会の報告及び検討事項とした。

- ・アプリ業者及び大会運営業者が変更となった場合においても、これまで通りの制作業者と杏林舎の制作体制が維持できれば問題はない。